

新潟市区のあり方検討委員会 概要（速報版）

第1回		
日 時	平成27年7月27日（月）14時30分～16時30分	
会 場	白山会館 1階 芙蓉	
出席者	委員	碓井光明委員，長谷川雪子委員，大橋誠五委員，奥寺洋子委員，渡邊信子委員，渡邊忠芳委員，足立定夫委員，関川弘雄委員，竹内一義委員，新藤幸生委員，小田信雄委員，真嶋民雄委員，如澤寛委員，青木千代子委員，下坂忠彦委員
	事務局等	篠田市長，加藤理事，高橋地域・魅力創造部長，三浦地域・魅力創造部次長
傍聴者	14名（うち報道5名）	
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 市長あいさつ ○ 委員紹介【資料1】 ○ 本委員会の位置づけ【資料2, 3, 4】 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 事務局より，本委員会の設置，開催要綱，傍聴に関する要領について説明を行い，4つの論点についての課題整理を依頼。 <ul style="list-style-type: none"> ①総合区制度への対応，②区の権限強化，③ガバナンスのあり方，④区の規模や数 ○ 座長選出，副座長指名 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 各委員の承認により，座長は碓井委員に決定しました。 ◦ 座長からの指名により，副座長は長谷川委員に決定しました。 ○ これまでの取組に係る評価について【資料5】 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 事務局より，本市の地域特性，合併から分権型政令市に向けたこれまでの取組について説明。 ○ 政令市にいがたを取り巻く状況について【資料6】 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 事務局より，本市の基礎データ，比較データなどを説明。 ○ 今後の進め方について【資料7】 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 事務局より，本委員会の進め方及び想定される論点について説明。 ○ 閉会 <p style="margin-top: 10px;">＜これまでの取組に関する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所機能強化の方向性を維持しつつ，業務執行の効率性や職員の専門性確保の観点から，市に集約した方が望ましい事務がないか検証が必要。 ・特色ある区づくり予算について，各区のこれまでの実績や実情を踏まえつつ，区自治協議会への説明のあり方等を含め検証が必要。 	

・教育委員担当区制は、新潟市独自の取組として積極的に評価。

<4つの論点に関する意見>

- ・同じ区の中でも、利便性の高い地域への移動が急速に進んでいる。利便性を確保できない地域の高齢化は加速している。
- ・国も自治体も小さくて効率的に運営されるべき。本庁は業務官庁から政策官庁になり、区役所をもっと住民に近づける。
- ・10年前に掲げた区づくりの理念をもう一度、本委員会で見てみる必要があるのではないか。
- ・現在の8区体制の考え方として、当時の資料で参考となるものを示してほしい。
- ・総合区の検討にあたって、新潟市に置き換えたらどうなるのか、メリット、デメリットなど、具体的な資料を示してほしい。
- ・今後の区のあり方を検討するに際しては、人口減少等の人口動態の変化を踏まえることが重要。

<その他の意見>

- ・コミ協の位置付け・役割について、自治基本条例に明文化したからといってコミ協活動がうまくいくとは限らない。
- ・生涯学習部門を市長部局へ移管する点についての議論が希薄ではないか。

会議資料

- 次 第
- 座 席 表
- 資 料 1：新潟市区のあり方検討委員会委員名簿
- 資 料 2：新潟市区のあり方検討委員会の設置について
- 資 料 3：新潟市区のあり方検討委員会開催要綱
- 資 料 4：新潟市区のあり方検討委員会の傍聴に関する要領
- 資 料 5：新潟市の地域の特性及び合併から分権型政令市に向けた取組
- 資 料 6：政令市にいがたを取り巻く状況
- 資 料 7：区のあるべき方向の検討
- 参考資料1：政令市にいがたのあり方に関する提言
- 委員資料1：新潟市のこれまでの分権型政令市に向けた取組に関する意見について

※ 詳細については、後日、改めて掲載いたします。